

「広報なりた」で振り返る

2023年の主な出来事

令和5年も、あと半月となりました。皆さんにとって、この1年はどんな年でしたか。
今年の市内の主な出来事を「広報なりた」からピックアップしました。



②成田ならではの成人式



③福豆を受け取ろうと手を伸ばして



④スポーツ庁長官から賞状の授与



①年始のにぎわいを取り戻す



⑥世界のトップアスリートが並ぶ



⑤日本の国技を間近で観戦

- 1月** ● 3年ぶりに行動制限のない中で正月を迎え、成田山新勝寺や表参道に新年のにぎわいが戻る**①**
● 「成人式」が3年ぶりに成田空港で開催**②**
● 小泉一成市長の5期目の市政がスタート
- 2月** ● 3年ぶりに特設ステージを設けて「成田山節分会」が開催。歌舞伎俳優の市川團十郎さんら豪華有名人が来場**③**
- 3月** ● 市独自の共生社会推進プロジェクト「PARA Beats!」が、スポーツを通じた国際交流の取り組みとして評価され、本市の市民栄誉賞受賞者であるスポーツ庁長官・室伏広治さんからスポーツ庁長官表彰を受ける**④**
● 国家戦略特区の規制緩和により開学した、国際医療福祉大学医学部の第一期生が卒業し、市内の医療機関に就職するなど、地域医療の一翼を担う
- 4月** ● 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、学校給食費無料化の対象を拡充
● 市議会議員選挙により30人の市議会議員が決定
● 「春巡業・大相撲成田場所」が重兵衛スポーツワールド中台体育館で開催され、本市出身の東照山も出場**⑤**
● イオンモール成田で「NARITAスポーツツーリズムフェス」を開催し、東京オリンピックで活躍した体操の橋本大輝選手やボクシングの並木月海選手などが開会セレモニーに参加**⑥**
- 5月** ● 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行
● 市制施行70周年記念事業の基本テーマとロゴマークが決定**⑦**
- 6月** ● 海外の人々に日本の文化を体験してもらう「日本の香りをあなたに」を成田観光館で4年ぶりに再開**⑧**
- 7月** ● 姉妹都市である米国・サンブルーノ市の行政訪問団が本市を訪れ、4年ぶりに対面で交流を深める**⑨**
● 夏の風物詩「成田祇園祭」が4年ぶりに全町参加で開催され、さらびやかな飾りを施した御輿1台と山車・屋台10台が勢ぞろい**⑩**
● 物価高騰などに対応する市独自の支援策を実施
- 8月** ● 4年ぶりに「下総ふるさとふれあい納涼まつり」が下総運動公園で開催され、大勢の来場者で会場がにぎわう
● 共生社会に対する理解を深める「共生社会ウィーク」にさまざまなイベントを実施。オープニングセレモニーでは、テーマ曲に歌詞を付けた「PARA Beats! ～羽ばたこう!成りたい私へ～」を初披露**⑪**
- 9月** ● 歩道や広場などの道路空間を効果的に活用し、まちにさらなるにぎわいを生むため、通称「ほこみち制度」の実証実験を開始
- 10月** ● 友好都市である韓国・仁川広域市中央区のチームを迎え「日韓国際交流サッカー大会」が重兵衛スポーツフィールド中台陸上競技場で開催**⑫**
● DX推進の一環として「税務証明書のコンビニ交付サービス」を開始
- 11月** ● DX推進の一環として「マイナンバーカードを利用した証明書のオンライン申請」を開始
● 4年ぶりに「大栄ふるさとふれあいまつり」がナスパ・スタジアムなどで開催され、大勢の来場者で会場がにぎわう



③外国人に人気の着付体験



⑦「飛躍」がテーマのロゴマーク



⑨友好の証に記念品を交換



⑩威勢のよい踊りと掛け声で



⑪共生社会の実現に向けた思いを歌に乗せて



⑫スポーツを通じて交流を深める